

統合科目

歯科臨床概論

《担当者名》歯科衛生士専門学校校長 / 岡橋智恵

【概要】

国民の医療への要望が多様化し、医療の質的向上が強く求められている。このような流れを背景として、ここ数年間に、歯科衛生士に対する社会の要望にも大きな変化が現れてきた。この教科においては、とくに医療と診察の意味を理解し、さらに歯科臨床について学び、歯科診療の流れを把握したうえで、総括的な理解をする。

【学修目標】

歯科衛生士として、基礎歯学、臨床歯科学を習得し、卒業に値する知識を確実に身につける。
さらに国家試験に向けて、万全を期す。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	歯科医療	歯科診療の特徴および特異性について説明できる。 P.1～P.12	岡橋 智恵
	歯科患者	患者の心理状態を、患者の側に立って考えることができる。 P.13～P.23	
	歯科疾患の概要	歯科疾患の概要を説明できる。 P.24～P.30	
	歯科診療所	歯科診療の行われる場とその規模、特性、設備などを説明できる。 P.31～P.36	
	歯科診療の流れの概要	歯科診療の流れを説明できる。 P.37～P.50	
	消毒と滅菌		

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

卒業試験100%

【教科書】

「歯科臨床概論」 石川達也他編 医歯薬出版

【学修の準備】

前年度までの教科書および講義資料、プリントを整理し内容について確認しておく。（20分）
授業ごとに実施したプリントや教科書の内容を元に復習をする。（40分）